

議会のあり方調査特別委員会 議会ICT検討分科会 記録	
開会年月日	令和4年4月20日
開会時刻	午前9時58分
閉会時刻	午前10時48分
出席委員名	◎北村 勝 ○宮崎 誠 三野泰嗣 川口 浩
	吉井詩子 岡田善行 福井輝夫 吉岡勝裕
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 議会におけるペーパーレス化のスケジュールについて
	2 議会のデジタルデバインド対策について
	3 SNS・ホームページについて
説明員	森田書記

## 会議の概要

北村会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「議会におけるペーパーレス化のスケジュールについて」外2件を順次議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

## 協議の内容

### 1 議会におけるペーパーレス化のスケジュールについて

資料1（伊勢市議会におけるペーパーレス化のスケジュール（案））について、事務局から説明があり、内容について諮ったところ、委員からは「(ペーパーレス対象外の) 予算書、決算書は冊子のほかにもデータ化することはできないのか」、「(資料では令和5年度から順次実施となっているがスケジュールを早めて) 令和4年度からの実施でもよいのでは」との意見があり、予算書、決算書のデータ化については、今後当局と打合せをしていく中で確認することが報告され、スケジュールについては、各会派に持ち帰り、他議員の意見を聞いた上で、改めて協議されることとなった。

また、会議録について委員から「国において会議録のペーパーレス化の動きがあるが、地方議会についてはどのようなになっているのか」との意見があり、事務局から「原本には署名があるため、ペーパーレス化はできないが、署名が要らない副本についてはペーパーレス化が可能である」との回答がされ、一部の会派に配っている副本、図書館等に配置している副本のペーパーレス化についても各会派に持ち帰り、他の議員の意見を聞いた上で、改めて協議されることとなった。

### 2 議会のデジタルデバインド対策について

議会のデジタルデバインド対策について、会長から「タブレットが貸与され、1年以上が経過しており、普段からタブレットを使用している議員、使用していない議員がいる。格差は開いていく一方である」という旨の説明がされ、意見を求めたところ、委員から「各議員がどれくらいのレベルか分からないため、アンケートを取ってほしい」との意見があり、少しでもタブレットを触る機会を設けるため、アンケートは紙で行うのではなく、メールにて実施することを決定した。

### 3 SNS・ホームページについて

今回からSNSについて協議していくこととなり、資料2（主なSNSのユーザー数・年代別の利用率）について、事務局から説明があり、伊勢市議会としての方向性をどうするか諮ったところ、「委員が他の市議会で運用しているSNSのフォロワーになって研究しては」、「議会としてSNSをすることはよいことである」、「フォロワー数を延ばしていくことは現状難しい」、「発信を双方向とするのか、一方通行とするのか」、「市の公式LINEを活用している方が増えている。同じような方向性であれば経費がどれくらいかかるか試算しやすい。双方向であれば炎上しやすい。それに誰が回答するのか、誰が責任を負うのが課題になってくる」との意見があり、本件についても各会派へ持ち帰り、次回改めて協議されることとなった。

上記署名する。

令和4年4月20日

会 長